

— 住み慣れた地域でいつまでも過ごしたいと思うあなたへ —

# まかせて安心 在宅医療マップ!!

「認知症になっても安心」「医療や介護が必要になっても安心」  
そんな大正区をめざします



「たंकん」

「ツージィ」  
大正区マスコットキャラクター

「カケハちゃん」

発行：大阪市大正区保健福祉センター

平成28年2月

協力：大正区在宅医療・介護連携推進会議

大正区医師会・大正区歯科医師会・大正区薬剤師会・大正区居宅介護支援事業者連絡会  
大正区訪問看護事業所・大正区地域包括支援センター・大正区北部地域包括支援センター



住み慣れた家でお医者さんや看護師さんなどに支えられながら...  
いつまでも自分らしく、療養生活をおくることができます!

# 在宅医療ってなあに?!



入院中から退院に向けた準備が必要です。  
入院中の方は、病院の医療相談の窓口に相談しましょう!

そんな方のために在宅医療があります

## 在宅医療って?!



お医者さんや看護師さんが自宅を訪問し、診察や治療などを行います。  
在宅医療には、「訪問診療」と「往診」があります。

### 「訪問診療」と「往診」の違いをご存知ですか?

#### 訪問診療とは

通院が困難な場合、継続的な診療が必要な患者さんに、定期的(週1回など)にお医者さんが自宅を訪問します。



#### 往診とは

患者さんやご家族からの急な依頼(突然の発熱など)に応じて、お医者さんが自宅を訪問し、診療を行います。



### 【在宅医療を支える医療機関や医師の役割】



#### 在宅療養支援診療所

地域において、在宅医療を支える24時間の窓口として、他の病院、診療所等と連携し、24時間往診、訪問看護等を提供している医療機関

#### 機能強化型在宅療養支援診療所

在宅療養支援診療所のうち、さらに複数の医師が在籍し、緊急往診と看取りの実績を有する医療機関(地域で複数の医療機関が連携して対応することも可能)

#### 認知症サポート医

認知症患者の診療に習熟し、かかりつけ医への助言その他の支援を行い、専門医療機関や地域包括支援センター等との連携の推進役となる医師で国立長寿医療センターの実施する「認知症サポート医養成研修」を受講し、修了した医師

#### 在宅医師

通院が困難な方に医師が自宅を訪問し、診療します。必要に応じて病院の医師と連携します

#### 薬剤師

通院が困難な方に医師または歯科医師の処方・指示により薬剤師が自宅を訪問し、お薬の説明や飲み方などの指導・管理をします

#### 看護師

医師の指示により、看護師が自宅を訪問し、下記のサービスを行います

#### 訪問看護サービスの内容

- 病状の観察
- 点滴・注射など
- リハビリテーション
- 服薬管理
- 医療機器などの管理 (在宅酸素・人工呼吸器・吸引・人工肛門・胃ろうなど)
- 床ずれの予防や処置
- 清拭・洗髪・入浴介助など
- 介護についての相談・支援
- 在宅での看取り



#### 歯科医師

通院が困難な方に歯科医師が自宅を訪問し、歯の治療などを行います(訪問歯科診療)

#### ケアマネジャー

介護保険制度を活用し、介護サービス事業者とともに在宅生活をサポートします



#### 理学療法士など

からだの状態にあわせて必要なリハビリを行います





認知症の人への対応の心得 三つの「ない」

「驚かせない」「急がせない」「自尊心を傷つけない」



## 具体的な対応のポイント



### まずは見守る

認知症と思われる人に気づいたら、本人やほかの人に気づかれないように、一定の距離を保ち、さりげなく様子を見守ります。近づきすぎたり、ジロジロ見たりするのは禁物です。



### 余裕をもって対応する

こちらが困惑や焦りを感じていると、相手にも伝わって動揺させてしまいます。自然な笑顔で応じましょう。



### 声をかけるときは1人で

複数で取り囲むと恐怖心をあおりやすいので、できるだけ1人で声をかけます。



### 後ろから声をかけない

一定の距離で相手の視野に入ったところで声をかけます。唐突な声がけは禁物。「何かお困りですか」「お手伝いしましょうか」「どうなさいました?」「こちらでゆっくりどうぞ」など。



### 相手に目線を合わせてやさしい口調で

小柄な方の場合は、体を低くして目線を同じ高さにして対応します。



### 相手の言葉に耳を傾けてゆっくり対応する

認知症の人は急がされるのが苦手です。同時に複数の問いに答えることも苦手です。相手の反応を伺いながら会話をしましょう。たどたどしい言葉でも、相手の言葉をゆっくり聴き、何をしたいのかを相手の言葉を使って推測・確認していきます。



### おだやかに、はっきりした滑舌で

高齢者は耳が聞こえにくい人が多いので、ゆっくりとはっきりした滑舌を心がけます。早口、大声、甲高い声でまくしたてないこと。その土地の方言でコミュニケーションをとることも大切です。

出典：認知症サポーター養成講座標準教材「認知症を学び地域で支えよう」  
全国キャラバン・メイト連絡協議会

## 地域包括支援センター・総合相談窓口へ

地域包括支援センターでは、高齢者の皆さんが住み慣れた地域で安心して生活が送れるように、次のことに取り組んでいます。

### ● 相談や悩みにお応えします!

介護保険、健康のこと、その他暮らし全般について何でもご相談ください。

### ● 自立した生活を支援します!

介護予防のための健康づくりや要支援と認定された方の自立を支援します。

### ● 権利を守るお手伝いをします!

成年後見制度、高齢者虐待、消費者被害などに対応します。

### ● 暮らしやすいまちづくりをすすめます!

ケアマネジャーへの支援や地域・医療・福祉などのネットワークづくりに取り組んでいます。

ご相談  
ください!



※大正区内には、地域包括支援センター・総合相談窓口は4ヶ所あります。所在地・連絡先・担当地域については、裏面の大正区在宅医療マップをご覧ください。

